

いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事

設計図

令和6年12月

発注者： いばらき広域農業共済組合

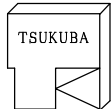
設計： つくば建築設計事務所株式会社

図 番	図 面 名 称	S C A L E
A-1	図面リスト	—
A-2	改修工事特記仕様書(1)	—
A-3	改修工事特記仕様書(2)	—
A-4	改修工事特記仕様書(3)	—
A-5	配置図・案内図	S=1:500
A-6	屋根平面図	S=1:200
A-7	屋根部分詳細図	S=1:20
A-8	防水工事 仮設計画図(参考)	S=1:300
A-9	1階平面図	S=1:200
A-10	2階平面図	S=1:200
A-11	東・西立面図	S=1:200
A-12	天井伏図・展開図	S=1:100



つくば建築設計事務所株式会社

茨城県竜ヶ崎市川原代町字小屋1059-1
 一級建築士事務所 茨城県第A-1272号
 一級建築士 大臣登録 第358477号 菊池 潤

記事

--	--	--	--	--	--

承認	照査	担当	製図	年月	縮尺
				2024.12	—

工事名称	いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事	No. A
図面名称	図面リスト	1

<p style="text-align: center;">特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事</p> <p>2 工事場所 つくば市下横場4 2 7番2</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域(内・外) 用途地域(市街地調整区域) 防火地域等(防火・準防火) 指定なし(22条) その他の地域・地区()</p> <p>4 主要用途 事務所</p> <p>5 敷地面積 6,828.51 m²</p> <p>6 工事の概要 ・直接仮設工事: 転落防止・昇降足場(くさび緊結足場) 転落防止柵 支柱H1000+親綱 ・防水改修工事: 建具-外壁・外壁目地一部他 シーリング改修 屋根防水改修 既存防水面 高圧水洗浄 同上 膨れ部・はがれ部補修 屋根R面・平面・軒樋 t=1.5合成高分子系シート防水(機械固定工法) 既存Dへの撤去 改修Dの新設 ・内装改修工事: 1階事務室 天井一部撤去新設・建具枠一部塗装改修 2階倉庫4 天井・ふかし壁・間仕切壁一部撤去新設</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ・解体工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書</p>	<p>1</p> <p>一般</p> <p>共通事項</p> <p>6. 電気保安</p> <p>7. 事故報告</p> <p>8. 建築材料等</p>	<p>・その他の廃棄物(管理型)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること</p> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・有(数量は図示) [5.4.3] ・無</p> <p>PCB含有シーリング材 ・有(施工範囲は図示) [5.4.4] ・無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。</p> <p>アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ・有(図示) ・無 アスベスト含有保温材除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ・有(図示) ・無 アスベスト成形板除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ・有(図示) ・無</p> <p>ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード 次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。 <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの</p> <p>指定する処分場 【名称: 所在地(km)】</p> <p>・適用する ※ 適用しない <1.3.3></p> <p>1. 3. 10) <1.3.10></p> <p>材料の品質等 <1.4.2> ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>環境への配慮 <1.4.1> ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「シックハウス」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。</p> <p>※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合 該当する建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 <1.6.9> (1.5.9) 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ 4-M777 (濃度指針値 100 µg/m³ ・ 0.08ppm) ※ 2-FEN (濃度指針値 220 µg/m³ ・ 0.05ppm) ※ 1-EN (濃度指針値 260 µg/m³ ・ 0.07ppm) ※ 2-MAN (濃度指針値 3,800 µg/m³ ・ 0.88ppm) ※ 2-FEN (濃度指針値 870 µg/m³ ・ 0.20ppm) ※ 1-2-MAN (濃度指針値 240 µg/m³ ・ 0.04ppm) 測定箇所数: (工事開始前1箇所、完了後4箇所測定とする)</p> <p>採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>・総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定箇所等については、末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。</p> <p>※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。</p> <p>「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。</p>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考									<p>11. 建築基準法による風圧力等の指定 <3.5.4><3.9.3><5.10~12.2><5.13.5>(13.2.3)(13.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用工事</th> <th>建築基準法の指定</th> </tr> <tr> <td>・合成高分子系ルーフィングシート</td> <td>風速(V0) ※30</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウム葺木</td> <td>金属屋根根葺</td> </tr> <tr> <td>・折板屋根葺</td> <td>ガラスブロック</td> </tr> <tr> <td>・重量シャッター</td> <td>軽量シャッター</td> </tr> <tr> <td>・オーバヘッドドア</td> <td> </td> </tr> </table> <p>※ 図示 ・ 現状平均地盤高</p> <p>施工数量調査 <1.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査範囲</th> <th>調査方法</th> <th>成果品</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.5.3></p> <p>4. 技能士 <1.6.2> ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <p>工事種目 技能検定職種(技能検定作業)</p> <p>以下の該当工事 ・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て 仮設工事 ・ とび(とび作業)</p> <p>防水改修工事 ○防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルト防水工事作業 ・FRP防水工事作業)</p> <p>外壁改修工事 ・左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) ・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・塗装(建築塗装作業)</p> <p>建具改修工事 ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ガラス施工(ガラス工事作業) ・自動ドア施工(自動ドア施工作業)</p> <p>内装改修工事 ・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業)</p> <p>塗装改修工事 ・塗装(建築塗装作業)</p> <p>耐震改修工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・型枠施工(型枠工事作業) ・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)</p> <p>コンクリートブロック・丸いパネル ・押出成形セメント板工事 ・ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)</p> <p>石工事 ・石材施工(石張り作業)</p> <p>排水工事 ・配管(建築配管作業)</p> <p>舗装工事 ・路面表示施工(・溶融ハイドロマーク工事作業 ・加熱ハイドロマーク作業)</p> <p>補装工事 ・造園(造園工事作業)</p> <p>屋根及びとい工事 ・建築板金(内外装板金作業) ・かわらぶき(かわらぶき作業)</p>	適用工事	建築基準法の指定	・合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※30	・アルミニウム葺木	金属屋根根葺	・折板屋根葺	ガラスブロック	・重量シャッター	軽量シャッター	・オーバヘッドドア		調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																	<p>2 3. ③ 揚重機械器具 ・トラッククレーン(t吊り) × 日 ・ (t吊り) × 日</p> <p>4. 工事表示板 ※ 設置する(設置枚数 1枚) ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領による。</p> <p>5. 足場その他 内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1> 外部足場 ※ A種 ・ B種 ・ C種 <表2.2.1> ・ D種 ・ E種 防護シート ※ 設ける ・ 設けない 材料の運搬 ※ A種 ・ B種 ・ C種 <表2.2.2> ・ D種 ※ E種</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>6. 養生 家具の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1> 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>7. 仮設間仕切り ・ 設ける(図示) <2.3.2><表2.3.1> 軽量鉄骨材等により支柱を組み、片面に石膏ボード張り(t=12.5mm)を行う。</p> <p>8. 監督職員事務所 ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1> ・ 設ける(規模 n㎡程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否)</p> <p>9. 工事用水 10. 工事用電力 11. 工事用通路 12. その他の仮設</p> <p>3 1. アスファルト 防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3~10> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 <3.2.2> 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.3.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>2. 伸縮調整目地 ※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) <3.3.2><3.3.5></p> <p>3. 改質アス ファルト シート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1~3> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・AS-T ※ カラー ・AS-J ・ シルバー ・AS-I</p> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.4.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>4. 合成高分子系 ルーフィング シート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1~2> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・S-F ※ カラー ・S-M 図示 ・S-I ・ シルバー</p> <p>脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない <3.5.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>5. 塗膜防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1~2> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・X-1 ※ カラー ・X-2 ・ シルバー ・Y-2</p> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.6.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>6. シーリング 材料の種類 及び施工箇所 ※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 <3.7.2><表3.7.1> ・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料 <表3.7.1>によらない箇所 シーリング材料 建具周り他 図示</p> <p>7. シーリング 改修工法 改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4~8><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所 ・シーリング充てん工法 ・シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法()</p> <p>8. とい <3.8.2><表3.8.1><表3.8.3~4> 材種 防露 ・配管用鋼管(SGP) ※ <表3.8.3~4>により行う ・硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き <3.8.3><表3.8.5> ※ <表3.8.5>による。</p>
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																																													
適用工事	建築基準法の指定																																															
・合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※30																																															
・アルミニウム葺木	金属屋根根葺																																															
・折板屋根葺	ガラスブロック																																															
・重量シャッター	軽量シャッター																																															
・オーバヘッドドア																																																
調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																																													
<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。 ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の< >、()及び[]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	<p>9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定</p> <p>10. 特別な材料の工法</p>	<p>12. 設計GL</p> <p>13. 施工調査</p> <p>1. 技能士</p> <p>1. 仮囲い</p> <p>2. 交通誘導員</p> <p>2 1. 仮囲い ※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・万能鋼板(H=) ・波形鉄板(H=) ・単管シート(H=) ・シートゲート(H= , W=) × 箇所</p> <p>2. 交通誘導員 ・ 配置する(日 × 人 = 人日) ※ 配置しない</p>	<p>11. 建築基準法による風圧力等の指定 <1.8.1><1.8.2><1.8.3></p> <p>12. 完成図等</p> <p>13. 完成写真</p> <p>※ 作成する 建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原版を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> <tr> <td>※カラー ・白黒</td> <td>※L ・2L ・六切り</td> <td>※工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・箇所枚</td> <td>※1部 ・1部</td> <td>※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </table> <p>・作成しない ・監督職員の指示による。 施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p> <p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで ・市の指示による。</p>	分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー ・白黒	※L ・2L ・六切り	※工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・箇所枚	※1部 ・1部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)	<p>3 1. アスファルト 防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3~10> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 <3.2.2> 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.3.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>2. 伸縮調整目地 ※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) <3.3.2><3.3.5></p> <p>3. 改質アス ファルト シート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1~3> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・AS-T ※ カラー ・AS-J ・ シルバー ・AS-I</p> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.4.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>4. 合成高分子系 ルーフィング シート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1~2> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・S-F ※ カラー ・S-M 図示 ・S-I ・ シルバー</p> <p>脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない <3.5.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>5. 塗膜防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1~2> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・X-1 ※ カラー ・X-2 ・ シルバー ・Y-2</p> <p>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.6.3> 種類 ・ 平面脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。</p> <p>6. シーリング 材料の種類 及び施工箇所 ※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 <3.7.2><表3.7.1> ・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料 <表3.7.1>によらない箇所 シーリング材料 建具周り他 図示</p> <p>7. シーリング 改修工法 改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4~8><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所 ・シーリング充てん工法 ・シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法()</p> <p>8. とい <3.8.2><表3.8.1><表3.8.3~4> 材種 防露 ・配管用鋼管(SGP) ※ <表3.8.3~4>により行う ・硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き <3.8.3><表3.8.5> ※ <表3.8.5>による。</p>																																		
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																												
※カラー ・白黒	※L ・2L ・六切り	※工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・箇所枚	※1部 ・1部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)																																												
<p>つくば建築設計事務所株式会社 茨城県竜ヶ崎市の川原代町字小屋1059-1 一級建築士事務所 茨城県第A-1272号 一級建築士 大臣登録 第358477号 菊池 潤</p>	<p>記事</p>	<p>承認</p> <p>照査</p> <p>担当</p> <p>製図</p> <p>年月</p> <p>2024.12</p> <p>縮尺</p> <p>工事名称</p> <p>いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事</p> <p>図面名称</p> <p>改修工事特記仕様書(1)</p>	<p>No.</p> <p>A</p> <p>2</p>																																													

3 防水改修工事 ① 防水保証	⑩ ルーフドレイン アルミニウム製製木	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、並木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	<3.8.2><表3.8.2> <3.9.2><表3.9.1> <3.9.2><表5.2.2>
	4 外壁改修工事	1. ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未未満 ※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0未未満 ※ Uカットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0未未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未未満 ・ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未未満 ※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0未未満 ※ Uカットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0未未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未未満 ・ タイル張り仕上げ 工 法 材 料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未未満 ※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0未未満 ※ タイル貼り除去後 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ 樹脂注入工法の上 ・ タイル張替え工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ 目地ひび割れ改修工法 ・ 樹脂注入工法 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未未満 0.3~0.5未未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注 入 量 (cc/m) コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない ・ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 平均深さ (mm) 延べ面積 (㎡) ※ 充てん工法 エポキシ樹脂モルタル 20~30未未満 30~40未未満 ポリマーセメントモルタル 5~10未未満 10~15未未満 15~20未未満 ・ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料 平均深さ (mm) 延べ面積 (㎡) ※ 充てん工法 エポキシ樹脂モルタル 20~30未未満 30~40未未満 ポリマーセメントモルタル 5~10未未満 10~15未未満 15~20未未満 ・ モルタル塗替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ タイル張り仕上げ 工 法 材 料 平均深さ (mm) 延べ面積 (㎡) ※ タイル部分張替え工法 エポキシ樹脂モルタル 20~30未未満 30~40未未満 ポリマーセメントモルタル 10~15未未満 15~20未未満 ・ タイル張替え工法

3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 1箇所浮き代 (mm) アンカーピン (本/m) 注入口 (箇/m) 延べ面積 (㎡) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未未満 ※16 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13 ※12 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13 ※12 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未未満 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※9 ※9 ・ 充てん工法 0.25未未満 ・ モルタル塗替え工法 ・ タイル張り仕上げ 工 法 1箇所浮き代 (mm) アンカーピン (本/m) 注入口 (箇/m) 延べ面積 (㎡) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未未満 ※16 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13 ※12 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13 ※12 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未未満 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※9 ※9 ・ タイル部分張替え工法 アンカーピンの材質 ※ (4.2.2(e)(f))による アンカーピン固定用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘り形 注入用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 施工箇所 形状寸法 (mm) 施工 有 無 標準注文 再生材 備考 ※セメントモルタルによるタイル張替え工法 <表4.5.4>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。 ・ 有機系接着剤によるタイル張替え工法 <表4.5.5>による。 規程名称 種類(呼び名) 仕上の形状 工 法 上塗り材 ・ 薄付け 付上塗材 ・ 外装厚塗材E ・ 砂壁状 ・ 厚付け 付上塗材 ・ 外装厚塗材C ・ 複層 付上塗材 ・ 複層塗材CE ※複層塗材E ・ 複層塗材RS ・ 複層塗材RE ・ 防水形 複層塗材Si ・ 防水形 複層塗材E ・ 防水形 複層塗材RS ※可とう形改修用付上塗材 ※可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE ・ 軽量骨材 付上塗材 ・ 吹付け ・ 軽量塗材 ・ こて塗用 軽量塗材 ・ 平たん状 ・ こて塗り 仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形1種 (可とう形改修塗材の場合) ・ 耐候形2種 ・ 耐候形3種 (可とう形改修塗材以外の場合)
	4. タイル張り

6. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法 処 理 範 囲 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示 4.6.3
	5. 1. 一般事項 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製 作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮 組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) 5.1.3 5.1.5 5.1.7
2. アルミニウム製建具	外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A種 S-4 A-3 W-4 70 (引違ひ、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 内部 建具 ※ C-1種 B-2種、C-2種の場合 ・ フォンズカラー (※標準色 ・ 濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 内部納まりの開き式 5.2.3
	3. 網戸 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステン (SUS 316) ※合成樹脂 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 5.2.3
4. 樹脂製建具	外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A種 S-4 A-4 W-4 ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 鋼 板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) 建具寸法が<5.4.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠類 枠 方立 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 戸の鋼板 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 ※ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ 5.6.4 5.6.5
	5. 鋼製建具 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 ※ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ 5.6.4 5.6.5

8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま 工法 (・ 在来型 ・ チップ型) (16.7.2~4)
	9. 建具用金物 金物の種類 型 式 製造所 シリンドラー箱錠 本締り付きモノロック モノロック シリンドラー本締り錠 グレモン錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビポット形 ビポットヒンジ JIS表示認証製品 レバーハンドル レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所 戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共)のドアクローザー、シリンドラー箱錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの作成 ・ 要 ・ 不要 ・ 不要 (既存マスターキーで施錠可能とする) <5.7.4> 性能 ・ スライディングドア ・ スイングドア <5.8.2><表5.8.1~2> センサーの種類 ・ 光線式 (反射) スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ <5.8.3><表5.8.3> ※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要 全半開装置 ※ 設ける (半開幅=) <5.10.2><表5.10.1>
10. 自動ドア開閉装置	性能 ・ スライディングドア ・ スイングドア <5.8.2><表5.8.1~2> センサーの種類 ・ 光線式 (反射) スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ <5.8.3><表5.8.3> ※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要 全半開装置 ※ 設ける (半開幅=) <5.10.2><表5.10.1>
	11. 重量シャッター 種 類 シャッターケース 耐風圧強度 開閉方式 保護装置 ・ 一般シャッター ※ 設ける ・ 設けない ※ 上部電動式 (自動閉鎖型) ・ 上部手動式 ※ 設ける ・ 防火シャッター ※ 設ける ※ 上部電動式 (自動閉鎖型)を設ける ・ 外壁用 ・ 屋内用 ・ 防煙シャッター スラット及びシャッターケース用鋼板 <5.10.3> ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) <5.11.2~4><表5.11.1>
12. 軽量シャッター	開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 保護装置 ※ 手動式 ※ 設ける ※ 建具表及び図示による ※ インターロッキング型 ※ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 設けない ※ オーバーラッピング型 ※ 設けない スラットの材質 <5.11.3> ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) <5.12.2~3>
	13. オーバーヘッドドア 材 質 開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール ※スチール タイプ ※ バランス式 ※ スタン ・ 50 ※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ アルミニウム タイプ ・ チェーン式 ・ ガード形 ・ 75 ・ ファイバー タイプ ・ 電動式 ・ ロー ・ 100 ・ グラスタイプ ・ ハイ (JIS A4715) ・ ヘッド形 ・ 125 リフト形による強さ (区分) ・ パーチカル形 <5.12.2~3>
14. ガラス	保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること <5.13.2><5.13.3><表5.13.1> ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収ガラス 性能 ・ 1類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 性能 ・ 1種 ・ 3種 (・ U3-1 ・ U3-2) ・ 4種 ・ 5種 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 耐久性 ・ A類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 反射皮膜 ・ シルバー 映像調整 ・ 内側 ・ 外側 ・ 行わない

5	14. ガラス	<p>ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る)</p> <p>防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、<表5.13.1>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。</p> <p>複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。</p>	6	14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの特 殊機能	<p>帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷オーム未満</p> <p>耐荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。</p>	22	遮音シール材 ・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド	<p><6.13.2> <6.14.2></p>	8	無筋 コンクリート	<p>適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。</p> <p>適用箇所</p>	(6.14.1)									
													<table border="1"> <tr> <th>表面形状 (JIS A5212)</th> <th>モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)</th> <th>厚さによる区分</th> </tr> <tr> <td>正方形</td> <td>125×125 ・ 160×160</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>200×200 ・ 320×320</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>250×125 ・ 320×160</td> <td>125</td> </tr> </table>	表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分	正方形	125×125 ・ 160×160	80	長方形	200×200 ・ 320×320
表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分																			
正方形	125×125 ・ 160×160	80																			
長方形	200×200 ・ 320×320	95																			
	250×125 ・ 320×160	125																			
15. ガラス ブロック (中空)	<p>ガラスの種類</p> <p>柄</p> <p>目地色</p> <p>金 属 枠</p> <p>耐火性能</p>	15. ビニル幅木	<p><6.8.2></p> <p>材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 高さ(mm) ・ 60 ※ 75 100 厚さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0</p>	24	タイル張り	<p>タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品</p> <p>施工箇所 形状寸法(mm) 施 工 無 有 無 標準注文 再生材 備 考 利用 タイル</p>	8	10. 底底等の 均しモルタル	<p>無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない</p>	<8.2.11>											
6	① 改修範囲	<p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲</p>	17. カーペット 敷き	<p><6.8.2></p> <p>材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 高さ(mm) ・ 60 ※ 75 100 厚さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0</p>	25	セルフレベ リング材塗り	<p>種類 ・ 石こう系 ・ セメント系 塗厚 ※ 10mm</p>	8	11. 型 枠	<p>せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有</p>	<8.2.7>										
2. 既存床の撤去 ・ 下地補修	<p>合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法</p>	18. 合成樹脂塗床	<p><6.10.2></p> <p>材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)</p>	7	① 防火材料	<p><7.1.3></p> <p>※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。()</p>	8	12. コンクリート の打込み工法	<p>※ 流込み工法 ・ 圧入工法</p>	<8.19.8><8.21.5>											
3. 改修後の 床の清掃範囲	<p>当該室全体 ・ 図示の範囲</p>	19. フローリング 張り	<p><6.11.2~6><表6.11.1~6></p> <p>・ 単層フローリング 種 別 樹種 厚さ(mm) 工 法 塗装 ・ フローリング ※ナラ ※15 幅 75 ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂 ボード 長さ500以上 ・ 接着工法 ワニス塗り ・ フローリング ※ナラ ※15 303×303 ・ モルタル埋込み工法 ・ オイルステ ン塗りの上 ・ フローリング ※ナラ ※15 303×303 ・ 接着工法 ・ 生地のまま ワックス</p>	7	② 錆止め 塗料塗り	<p><7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4></p> <p>下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別</p> <p>鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 塗替え ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種 ※C種 ※B種</p>	8	13. 既存部分の 撤去	<p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・</p>	<8.19.2>											
4. 既存壁の撤去 ・ 下地補修	<p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ <4.4.9>による ()</p>	20. 畳敷き	<p><6.12.2><表6.12.1></p> <p>畳の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 ()</p>	8	③ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	<p><7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3></p> <p>下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別</p> <p>木部 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種(外部) ※1種 塗替え ※RA種 ※RB種・RC種 ※A種(内部) ・ C種 ・ 2種</p>	8	1. あと施工 アンカー	<p>※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN) ・ セン断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転 ・ 打撃式 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN) ・ セン断耐力 (KN)] 打込み方式 ※ 本体打込み式改良型</p>	<8.2.4>											
5. 木 材	<p>表面仕上げの程度 ・ A種 ※ B種 ・ C種 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし ・ あり ()</p>	21. 石こうボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK 壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃) JIS A 5430 (タイプ2)</p>	8	④ 鉄筋の種類	<p><8.2.1><表8.2.1></p> <p>規格名称 種類の記号 径(mm)</p> <p>鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ D16以下 ※ SD345 ※ D19以上</p>	8	2. あと施工 アンカーの 試験	<p>性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p>	<8.2.4> <8.11.5>											
6. 集材材	<p>造作用集材材は<6.5.2(c)(ii)>による</p> <p>見 付 け 材 面 JASによる集材材 其 他 等 級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等</p> <p>単材の樹種 単材の厚さ(mm) 10~15 10~15</p>	22. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.12.2><表6.12.1></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑤ 合材の種類	<p><8.1.3></p> <p>普通コンクリート (N/mm²) 設計基準強度 適用 箇所 ※ 21</p>	8	3. 埋込配管等 の調査	<p>範囲 ※ 穿孔箇所すべて ・ 図示</p>	<8.11.2>											
7. 床張り用合板	<p>床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ()</p>	23. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ・ 軒天用 普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃) JIS A 6301</p>	8	⑥ 鉄筋の継手	<p><8.3.4></p> <p>径 19mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手</p>	8	4. 鋼材の種類	<p>※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場</p>	<8.1.5>											
8. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	<p>薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。</p> <p>防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1</p>	24. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑦ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	5. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STKR400 ・ SN400B_C ・ SN490B_C ・ SM400 ・ SM490 JIS表示認証製品</p>	<8.2.8><表8.2.7>											
9. 軽量鉄骨天井 下地材	<p>野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名 :) 屋外 ・ 19型 ※ 25型</p> <p>インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 ※ 行う ※ 行わない</p> <p>耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p> <p>耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p>	25. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ・ 軒天用 普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃) JIS A 6301</p>	8	⑧ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	6. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SNR400B (7.2.4)</p>	<8.2.9>											
10. 軽量鉄骨 壁下地材	<p>スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。</p>	26. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>石膏ウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑨ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	7. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SNR400B (7.2.4)</p>	<8.2.9>											
11. 体育館の 鋼製床下地	<p>※ JIS A 6519のJIS表示認証製品</p>	27. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>石膏ウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑩ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	8. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SNR400B (7.2.4)</p>	<8.2.9>											
12. ビニル床 シート張り	<p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <p>種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法 ※ 発泡層のないもの ※FS ※無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※熱溶接 ・ TS ○マーブル ○ 2.5 ・ 耐荷重 ・ 突付け ・ 発泡層のあるもの ・ HS ・ KS</p>	28. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>石膏ウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑪ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	9. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SNR400B (7.2.4)</p>	<8.2.9>											
13. ビニル床 タイル張り	<p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <p>種 類 記号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ KT ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ FT ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 耐荷重 ・ ホモジニアス ・ FT ・ 450×450 ・ ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ 耐荷重</p>	29. 石膏ボード その他ボード 張り	<p><6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5></p> <p>種類又は記号 種別など 厚さ(mm) 規格番号</p> <p>石膏ウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 25(不燃) JIS A 6301 (32K)</p>	8	⑫ 鉄筋の継手	<p><8.3.8></p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	8	10. 鋼材の種類	<p>材 質 規 格 ・ SS400 ・ SNR400B (7.2.4)</p>	<8.2.9>											



工事場所：つくば市下横場427番2

■工事概要

- ・直接仮設工事：転落防止・昇降足場（くさび緊結足場）
転落防止柵 支柱H1000+親綱
- ・防水改修工事：建具-外壁・外壁目地一部他 シーリング改修
屋根防水改修 既存防水面 高圧水洗浄
同上 膨れ部・はがれ部補修
屋根R面・平面・軒樋 t=1.5合成高分子系シート防水
（機械固定工法）かぶせ工法
既存ドレン撤去 改修ドレン新設
- ・内装改修工事：1階事務室 天井一部撤去新設・建具枠一部塗装改修
2階倉庫4 天井・ふかし壁・間仕切壁一部撤去新設

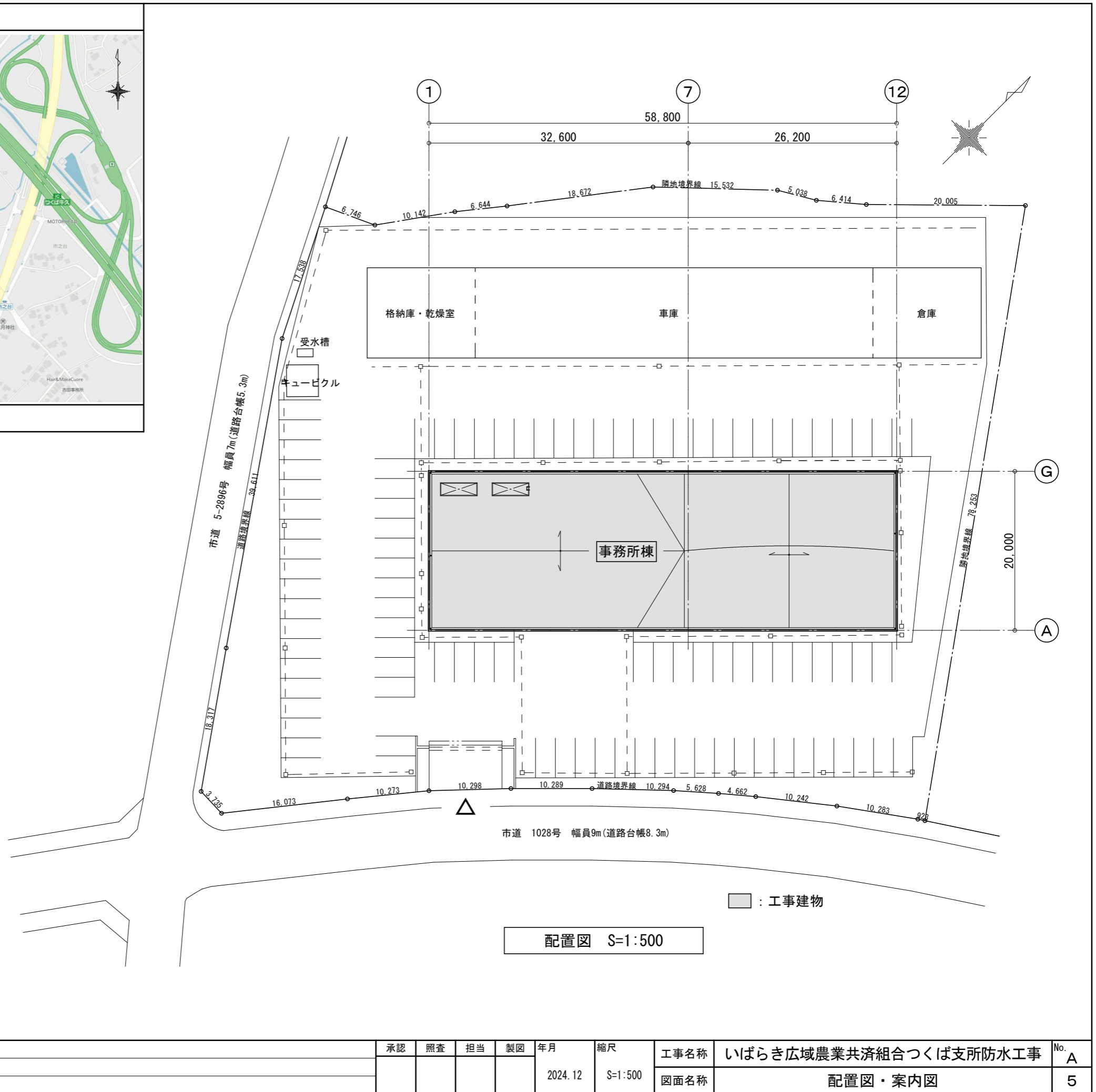
■建物概要

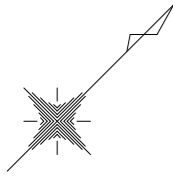
地名・地番	茨城県つくば市下横場427番2		
用途地域	市街化調整区域		
防火指定	指定なし		
構造	事務所棟（鉄骨造2階） 車庫棟（鉄骨造1階）		
用途	事務所		
敷地面積	6,828.51㎡（2,065.62坪）		
延床面積	2,792.39㎡（844.70坪）	容積率：40.90%	
建築面積	1,964.22㎡（594.18坪）	建蔽率：28.77%	

■面積表

(単位：㎡)

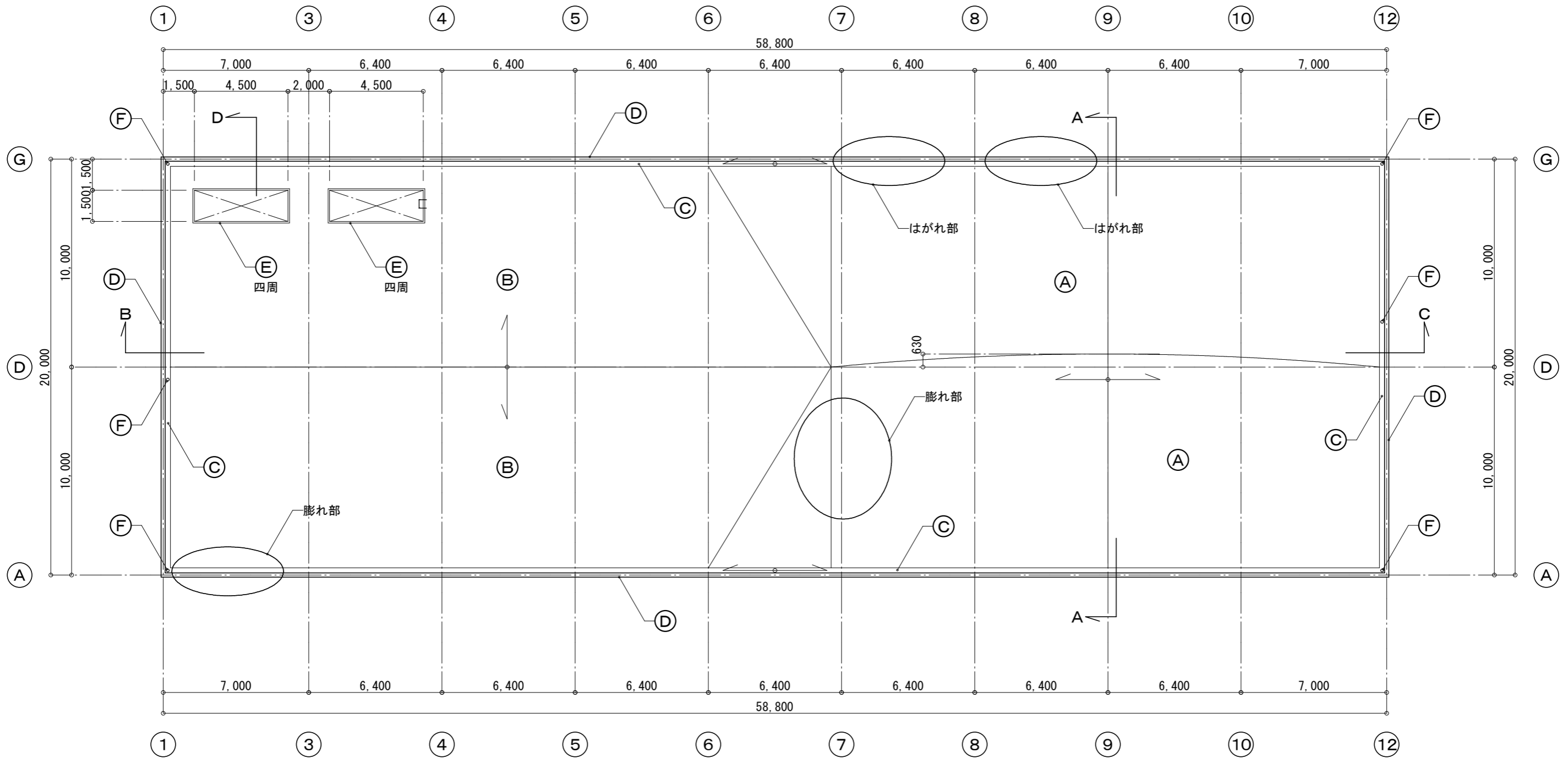
建物名称		構造・規模	1F床面積	2F床面積	延床面積	建築面積
工事建物	事務所棟	鉄骨造2階	1,101.86	889.14	1,991.00	1,162.83
既存建物	車庫棟	鉄骨造1階	801.39	—	801.39	801.39
合計			1,903.25	889.14	2,792.39	1,964.22



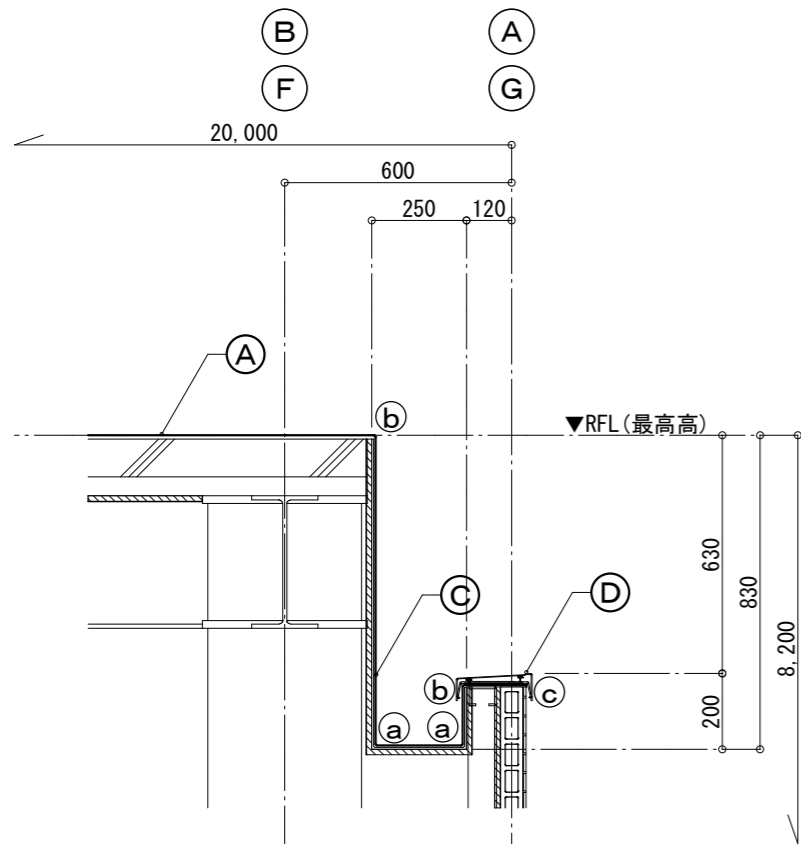


記号	外部仕上 (屋根)
Ⓐ	R屋根 既存t=1.2ゴムシート防水 膨れ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設(かぶせ工法)
Ⓑ	屋根 既存t=1.2ゴムシート防水 膨れ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設(かぶせ工法)
Ⓒ	軒樋 既存t=2.0塩ビシート防水 (金属板下地) 一部膨れ・はがれ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設(かぶせ工法)

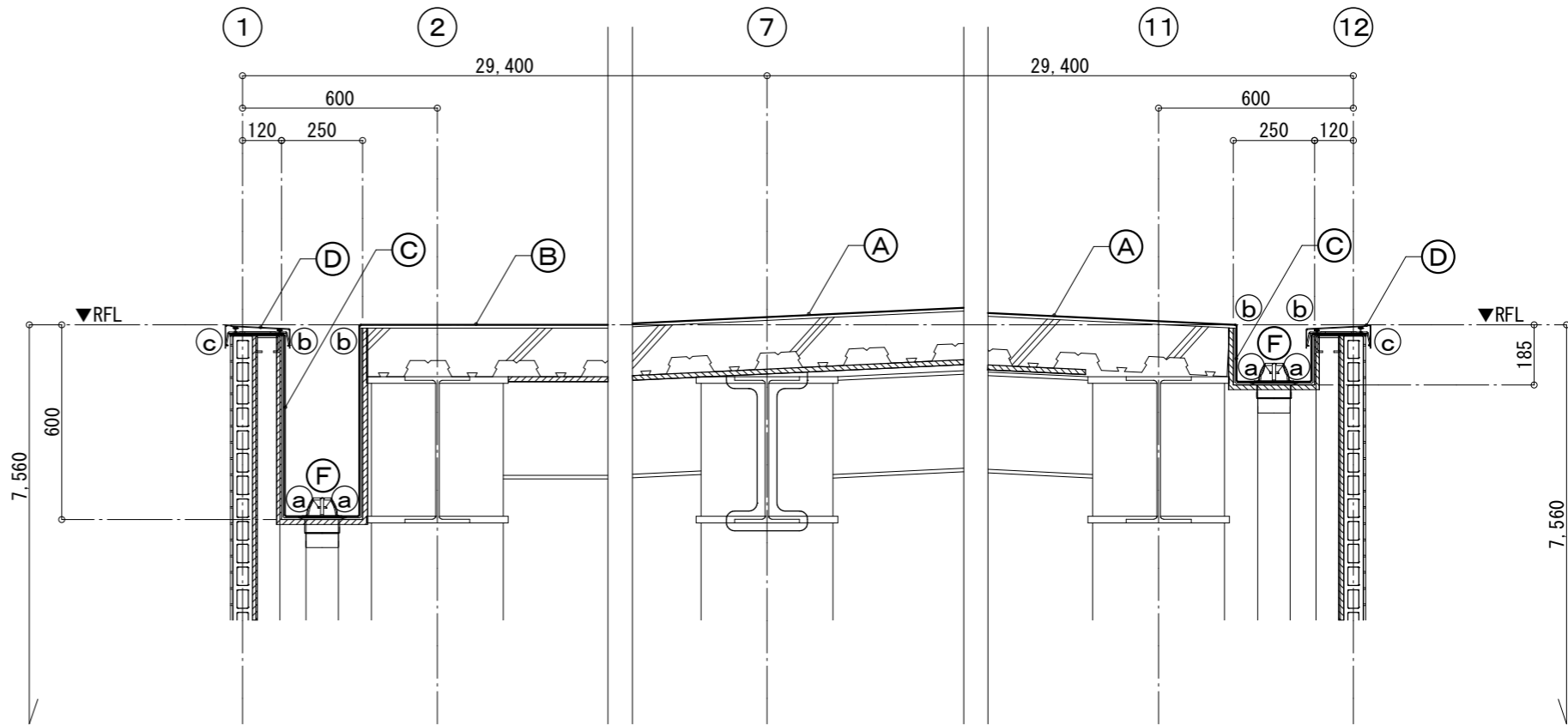
記号	外部仕上 (屋根)
Ⓓ	笠木 既存W200アルミ製 一時撤去・再取付
Ⓔ	笠木 既存t=1.0ステンレス加工 一次撤去・再取付
Ⓕ	ドレン 既存撤去、改修用ドレンφ100



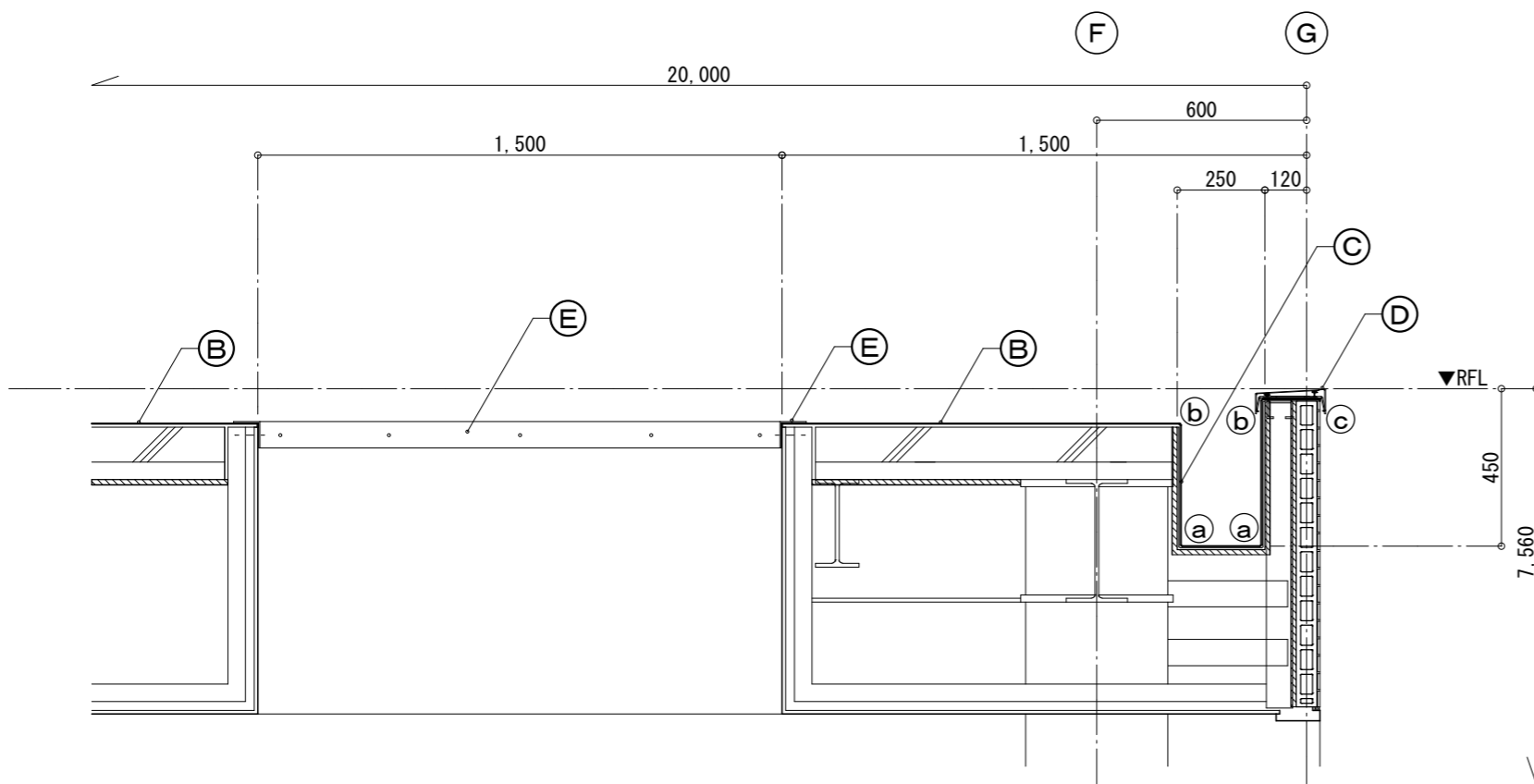
屋根平面図 S=1:200



A部分詳細図 S=1:20



B-C部分詳細図 S=1:20



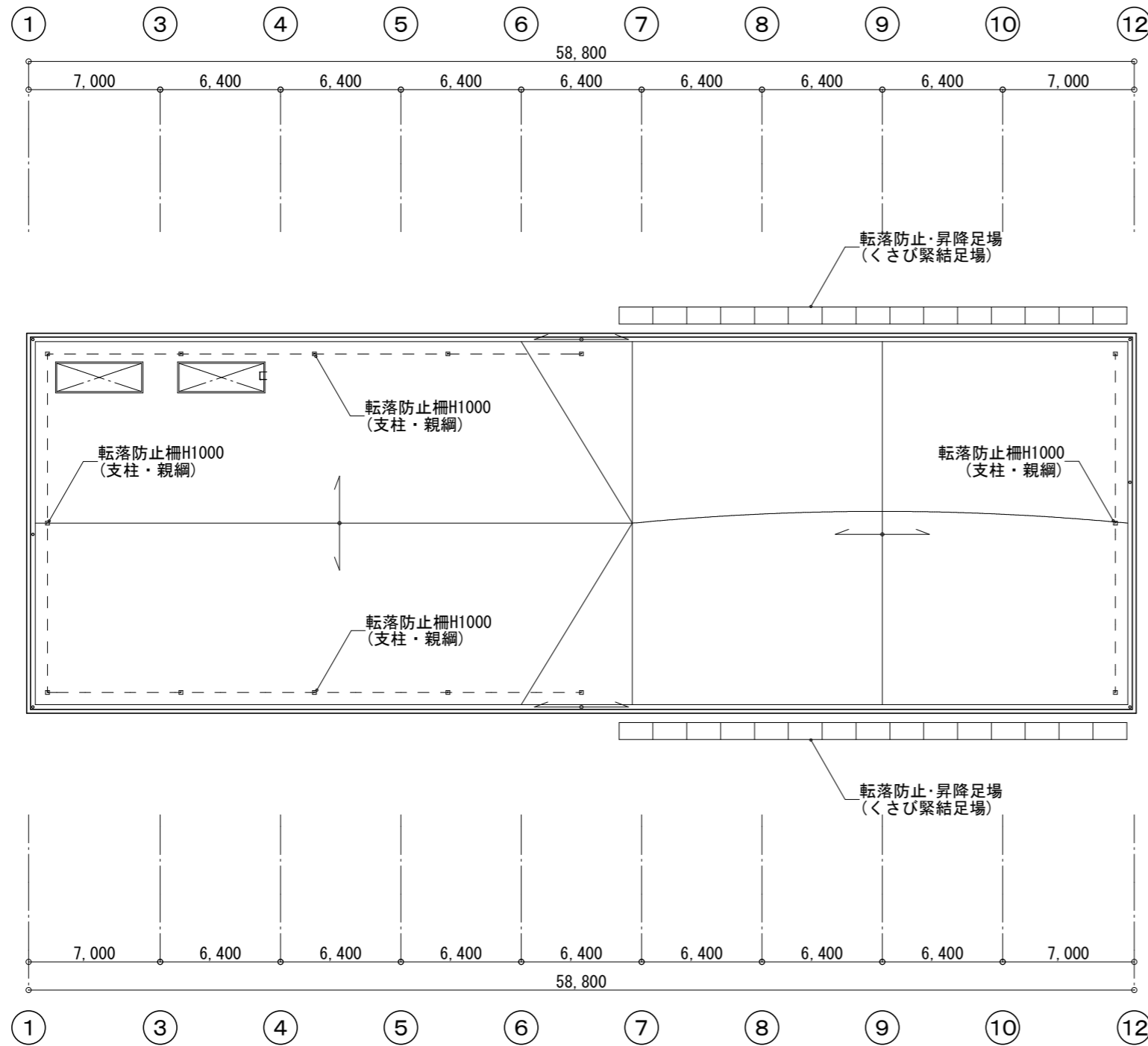
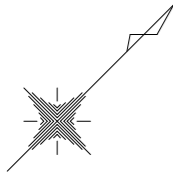
D部分詳細図 S=1:20

記号	外部仕上 (屋根)
(A)	R屋根 既存t=1.2ゴムシート防水 膨れ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設 (かぶせ工法)
(B)	屋根 既存t=1.2ゴムシート防水 膨れ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設 (かぶせ工法)
(C)	軒樋 既存t=2.0塩ビシート防水 (金属板下地) 一部膨れ・はがれ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設 (かぶせ工法)

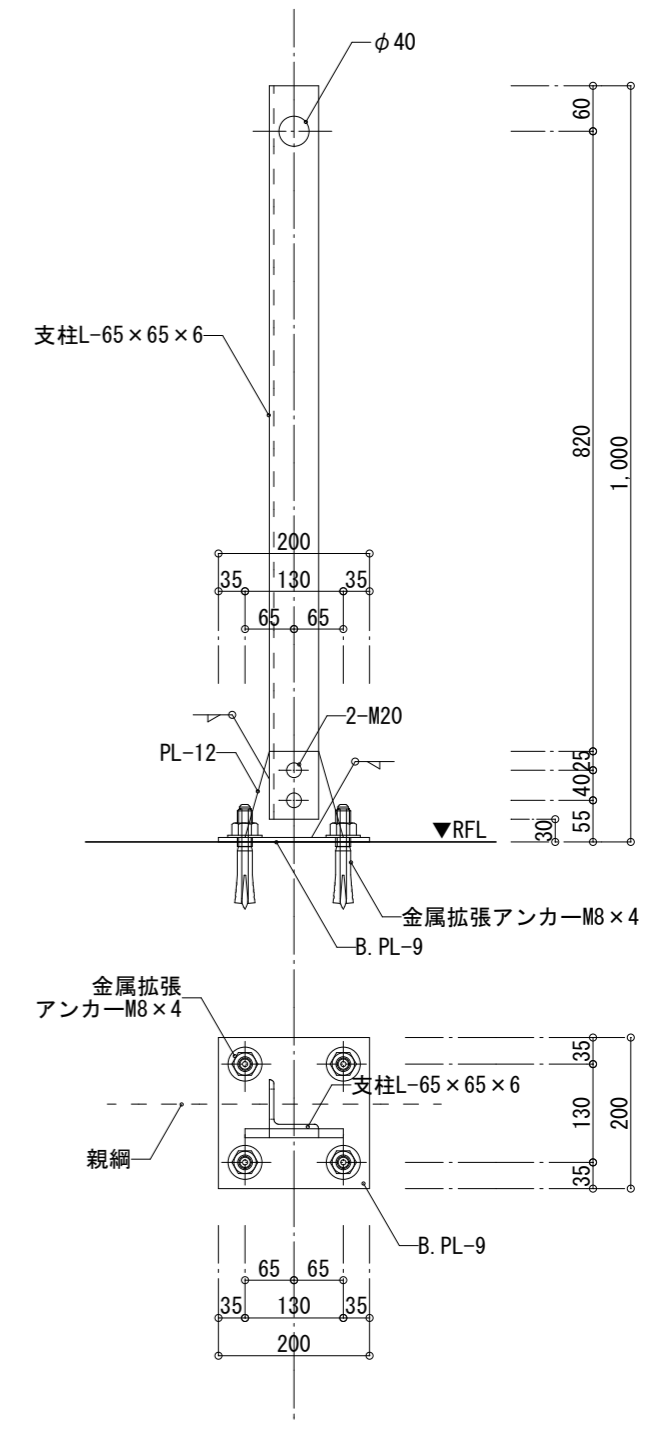
記号	外部仕上 (屋根)
(D)	笠木 既存W200アルミ製 一時撤去・再取付
(E)	笠木 既存t=1.0ステンレス加工 一次撤去・再取付
(F)	ドレン 既存撤去、改修用ドレンφ100

記号	外部仕上 (屋根)
(a)	軒樋入隅部 塩ビ被覆鋼板 50×15 UP-2
(b)	軒樋-屋根出隅部・軒樋-パラペット出隅部 塩ビ被覆鋼板 50×15 UP-3
(c)	パラペット先端部 塩ビ被覆鋼板 70×50 UP-4



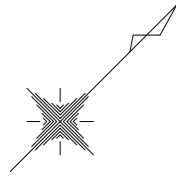


仮設計画図 S=1:300

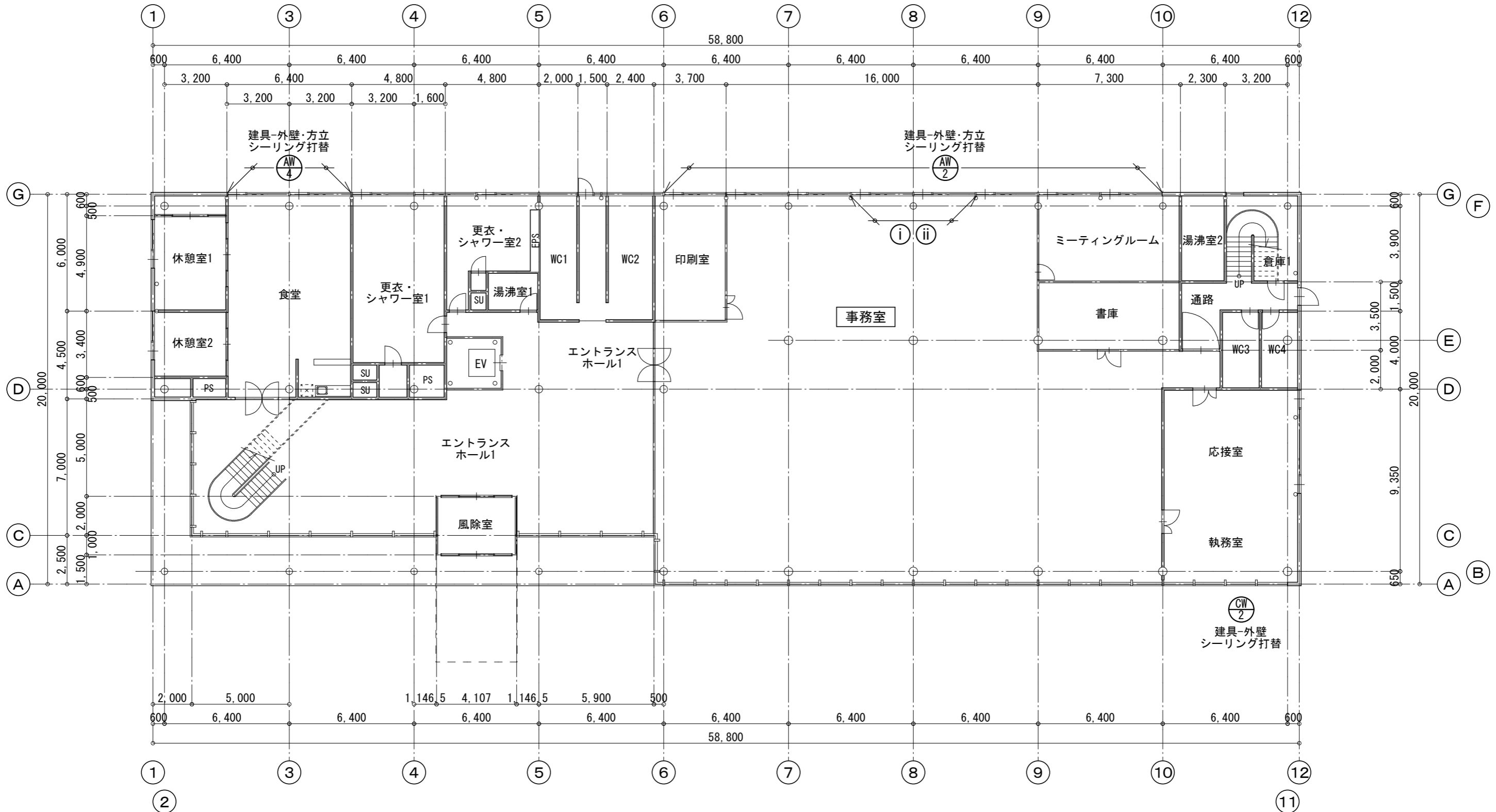


転落防止柵 参考図 S=1:10

記事	承認	照査	担当	製図	年月	縮尺	工事名称	No.
					2024.12	S=1:300	いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事	A
							防水工事 仮設計画図 (参考)	8



記号	内部仕上
①	天井 既存t=9.5石膏ボード+9.0岩綿吸音板撤去 (W600の範囲) 同新設 (軽鉄下地再利用)
②	建具枠(上下・⑨通側建枠) 既存スチール製SOP塗 RB種下地調整 SOP塗 W150



1階平面図 S=1:200



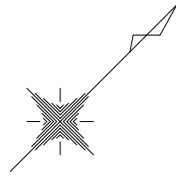
つくば建築設計事務所株式会社
茨城県竜ヶ崎市川原代町字小屋1059-1
一級建築士事務所 茨城県第A-1272号
一級建築士 大臣登録 第358477号 菊池 潤

記事

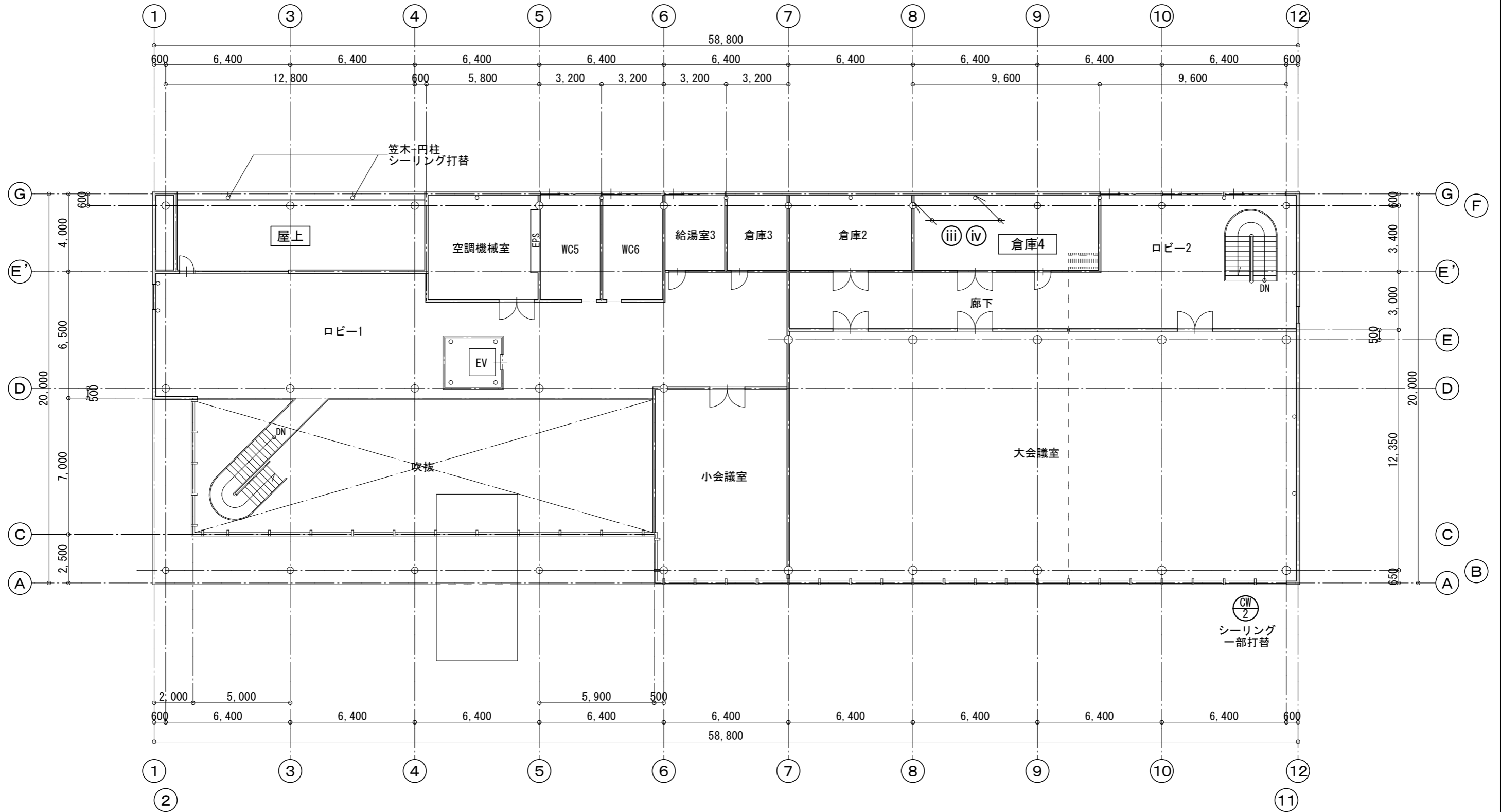
承認	照査	担当	製図	年月
				2024.12

縮尺
S=1:200

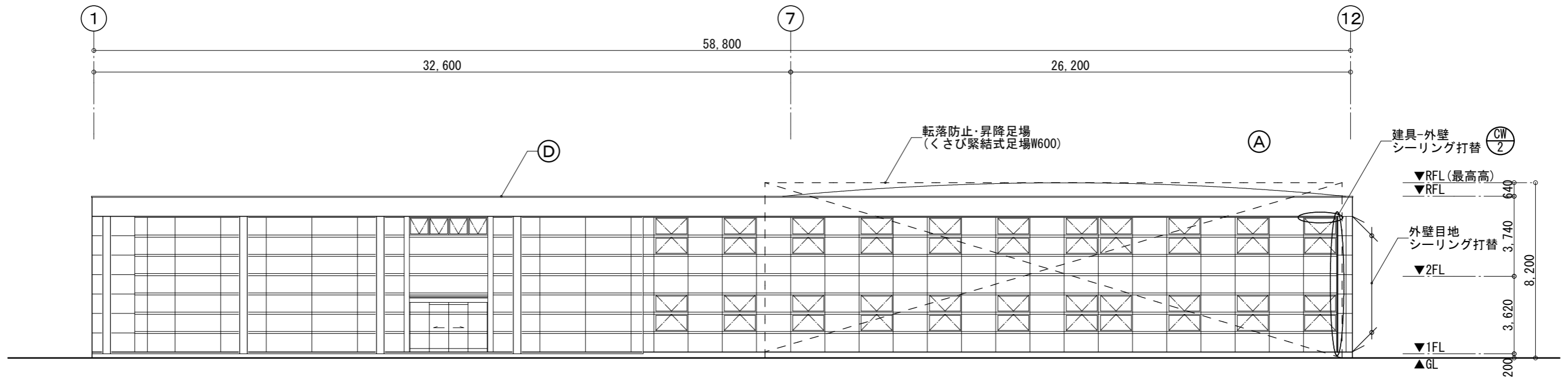
工事名称	図面名称	No.
いばらき広域農業共済組合つくば支所防水工事	1階平面図	A 9



記号	内部仕上
(iii)	天井 既存t=9.5化粧石膏ボード撤去 同新設(軽鉄下地再利用)
(iv)	ふかし壁(既存t=12.5石膏ボード下地 ビニールクロス) 間仕切壁(既存t=9.5+12.5石膏ボード下地 ビニールクロス)撤去 同新設(ビニール巾木H100共)

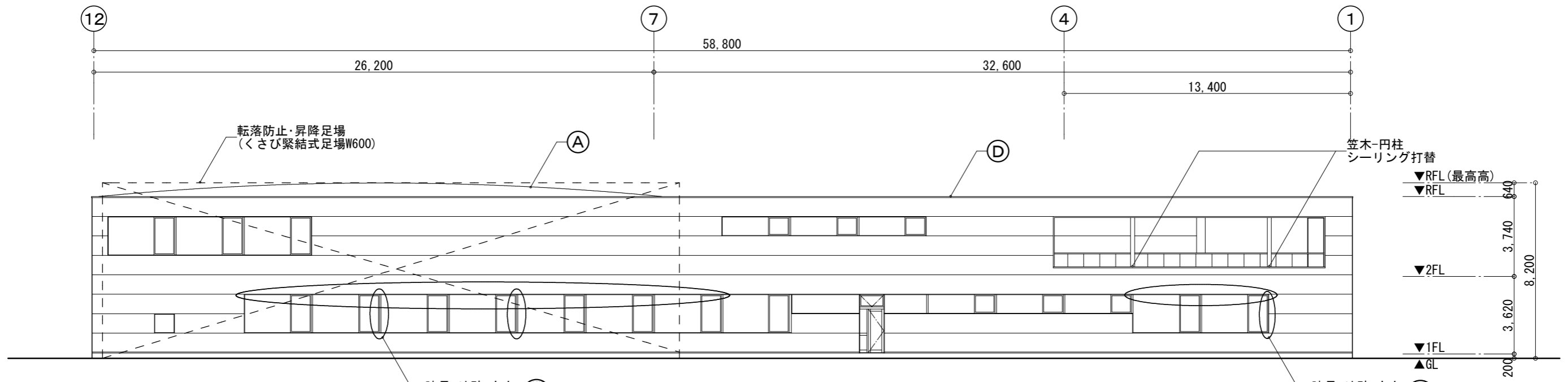


2階平面図 S=1:200

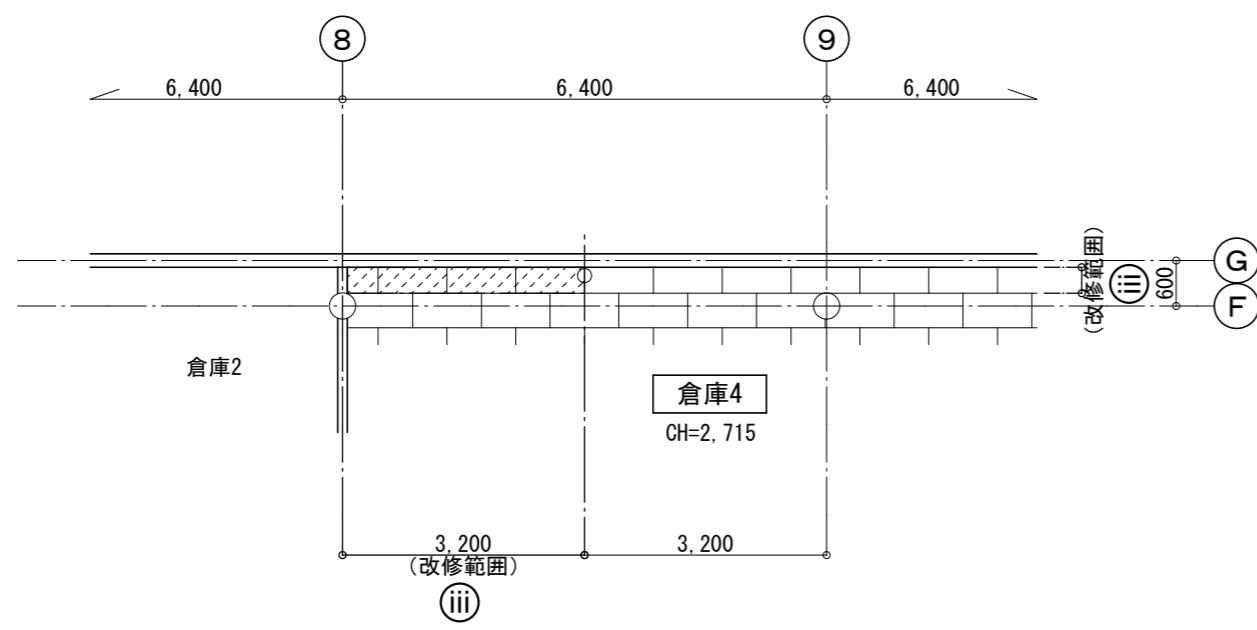
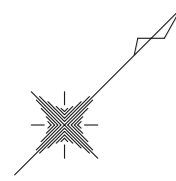


東立面図 S=1:200

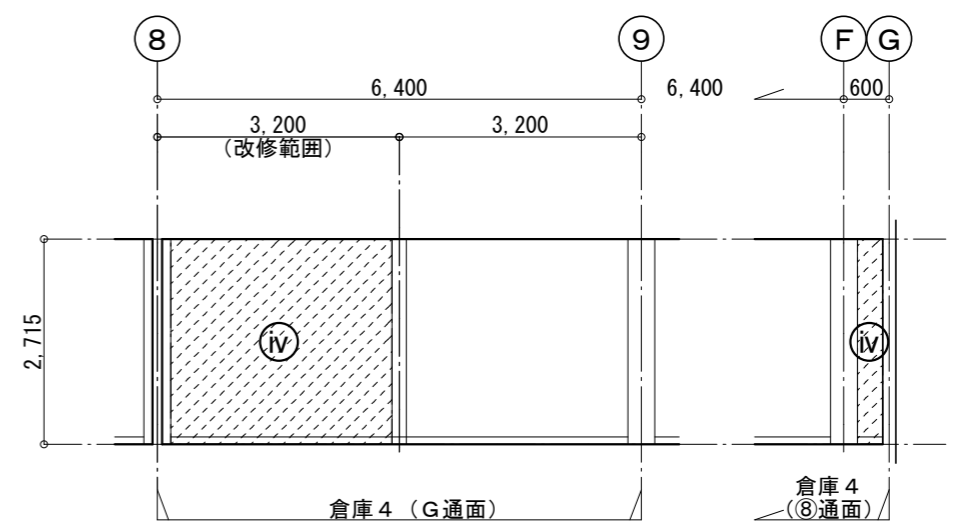
記号	外部仕上 (屋根)
(A)	R屋根 既存t=1.2ゴムシート防水 膨れ部補修 t=1.5合成高分子系シート防水 (機械固定工法) 新設 (かぶせ工法)
(D)	笠木 既存W200アルミ製 一時撤去・再取付



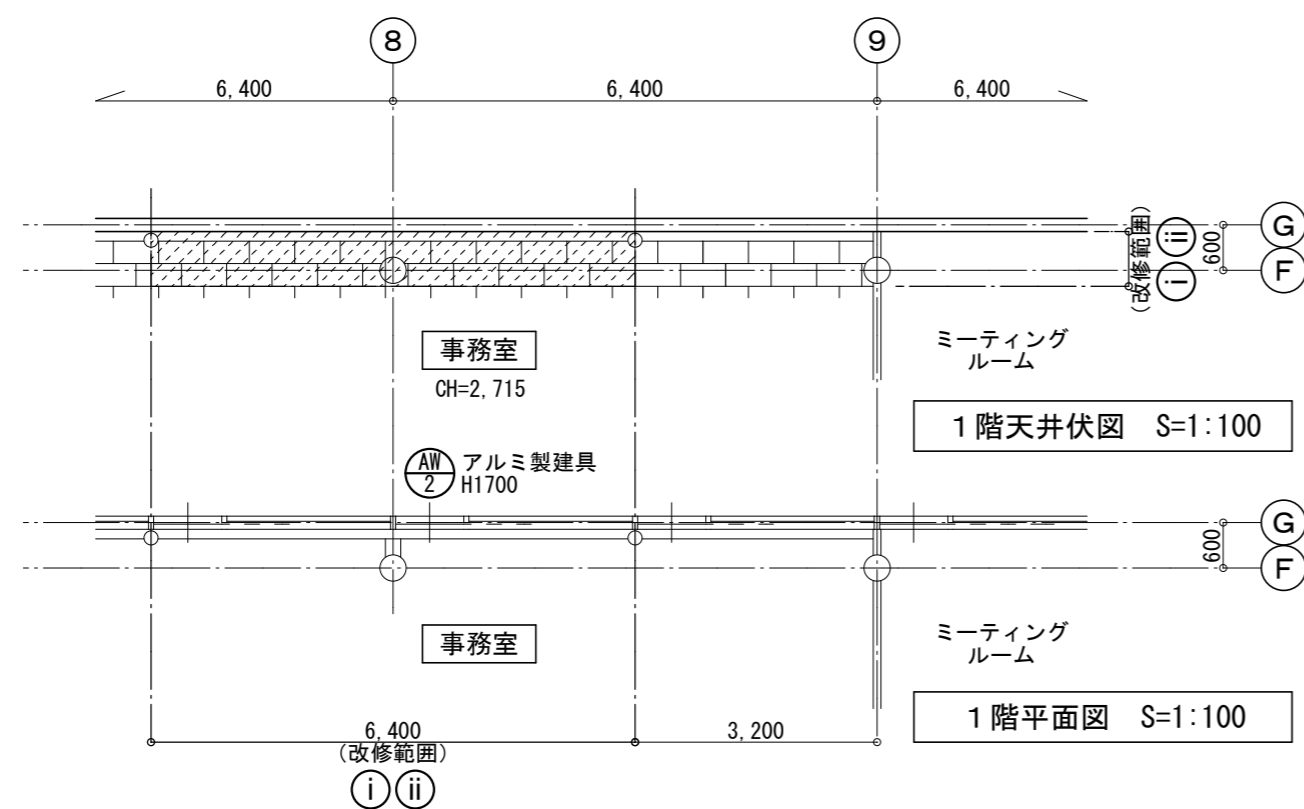
西立面図 S=1:200



2階天井伏図 S=1:100



記号	内部仕上
iii	天井 既存t=9.5化粧石膏ボード撤去 同新設 (軽鉄下地再利用)
iv	ふかし壁 (既存t=12.5石膏ボード下地 ビニールクロス) 間仕切壁 (既存t=9.5+12.5石膏ボード下地 ビニールクロス) 撤去 同新設 (ビニル巾木H100共)



1階天井伏図 S=1:100

1階平面図 S=1:100

記号	内部仕上
i	天井 既存t=9.5石膏ボード+9.0岩綿吸音板撤去 (W600の範囲) 同新設 (軽鉄下地再利用)
ii	建具枠 (上下・9通側建枠) 既存スチール製SOP塗 RB種下地調整 SOP塗 W150